

2023 年度（令和 5 年度・第 9 期）

事業報告書

1. 2023 年度を振り返って
2. 2023 年度 事業報告書
 - ・全体概要および事業内容補足事項
 - ・運営に関する事項
3. 2023 年度 活動計算書
4. 2023 年度 貸借対照表
5. 2023 年度 財務諸表の注記
6. 2023 年度 財産目録

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

岡山県の難病相談に訪れた 10 代後半の子から「2 年前に病気が発症したけれど、同じような病気の人と出会ったことがない。闘病している同世代と話がしたい。交流がしたい。」といった主訴がありました。そこからポケットサポートにつながり、2 月の交流イベントに初めて参加をしてくださいました。それまで、電話やメールなどでも話は伺っていましたが、彼はゲームなどのアクティビティに参加することなく、座談会のテーブルで 2 時間ずっと、自分の病気のこと、発症してからの不安な思いを話し、闘病している同世代からの話を一生懸命に聞き入っていました。

「こんなことなら、もっと早く知りたかった。」

「次は、母親も連れてきても良いですか？聞きたいことがたくさんあるみたいです。」この後も、診察のときの医療者との話、不安なことがあるとき、継続して相談してこられてポケットサポートに関わってくれています。

3 つ目のミッション「人や気持ちをつなぐ」では、「家族・支援者向けサポートブック」を制作。県内の全ての学校関係はもとより全国の小児慢性特定疾病関係機関や、小児がん拠点病院等へも配布することができました。

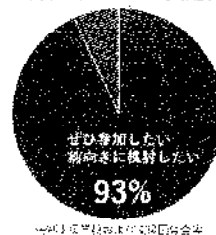
「病気療養をしている子どもにとっても、学びは大切であり喜びです。その機会をなるべく失わないようにしてあげたいというのが、私たち医療者の願いでもあります。」2023 年度まで岡山医療センターの病院長を務められていた久保先生が寄稿してくださった文の一部です。私たちの活動は医療者との連携が必要不可欠です。この文を頂いた時、病気の治療以外の部分を見てくださる医療者の方が事業に協力して頂いているということに、心強さを感じました。

また WEB を活用した情報発信として、私たちの思いや活動内容などをまとめたプロモーション動画を制作、SNS や YouTube への広告掲載にチャ

レンジし、その結果多くの支援者の方とつながることができました。まさに「気持ちをつなぐ」を実感する出来事となりました。その他、ベネッセこども基金さんと実施した「病気療養児支援者全国ネットワーク構築に関するアンケート」もメディア掲載されたことで反響を呼び、本事業のニーズの高さや、支援者同士の繋がりの重要性を広く、多くの方に認識していただくことができました。

「病弱児支援に横断的体制を望む」9 割

全国ネットワークへの参加意向



特別支援学校・支援団体の双方で
全国の病弱児支援団体や
関係機関同士の横のつながりを
広げることへの高い関心がある

調査回答数：47件
特別支援学校：33件
病弱児支援団体：14件

世の中全体でコロナ禍が終息する中、未だ小児医療の現場はその延長を引きずっているように感じています。しかし、ICT 等のテクノロジーや病気療養する子どもたちに関する制度も整ってきているのは事実です。テクノロジーと制度が整えば、あとはそれを使う「人」がいれば子どもたちは救われていくと実感しています。

私たちは 2023 年度、病気を抱える子どもたちが学び、家族が安心して交流ができる場があることを喜んでくださる姿を沢山目の当たりにすることができました。そして、その場を支えてくれる支援者・活動の理解者の人たちと連携・協働ができることが、一番の強さなのだ改めて実感する 1 年間でした。これからも岡山という地域で病気療養する子どもたちやご家族のため、さらに歩みを進め 2024 年度も病気を抱える子どもたちが安心して過ごせる社会づくりを、仲間たちと共に取り組んでいきたいと思います。

代表理事 三好 祐也

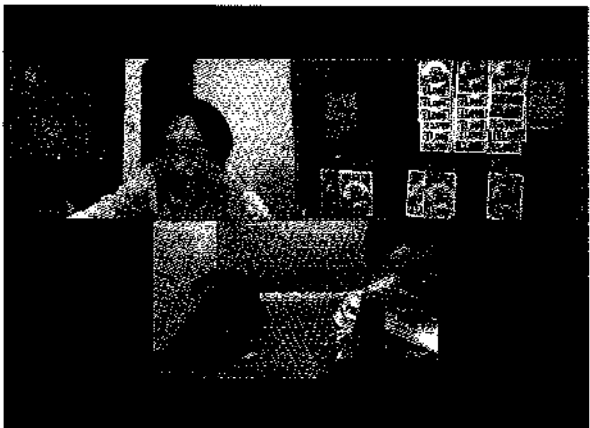
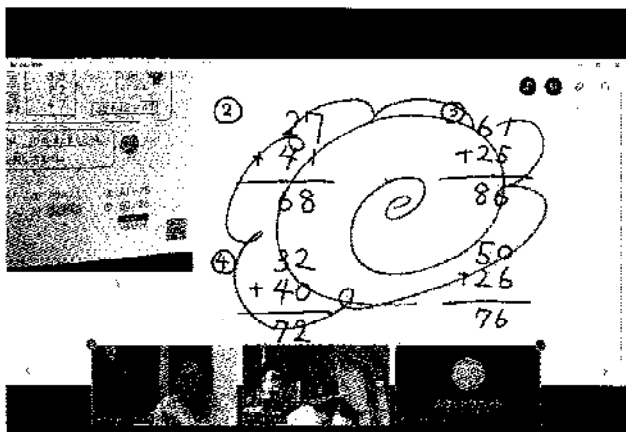
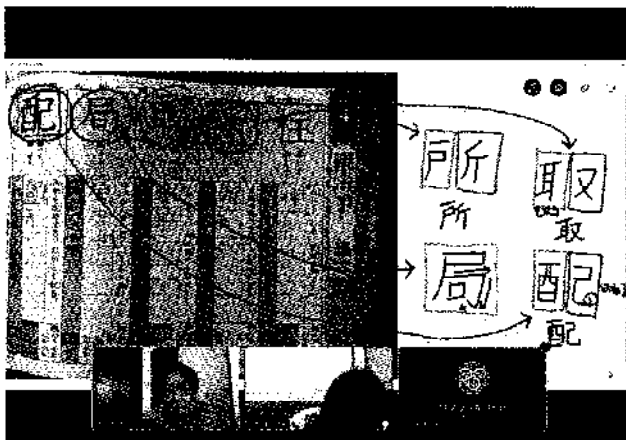
(3) 病弱児への支援に関する啓発活動および拡充事業

事業名	事業内容	事業費		参加者数
		種別	金額	
講師派遣事業	大学等に講師を派遣して病弱児支援について広報、周知活動	謝金	761,780	講演等参加者 約 700 名
		随時・オンライン等		3 名
病気療養する高校生世代の支援拡充事業	岡山県内における AYA 世代支援ネットワークづくりフォーラム開催 (橋本財団ソーシャルワーク支援助成)	助成	825,652	全国の関係者 約 400 名
		随時・8月講演会開催		10 名
全国病気療養児支援アドバイザーニーズ調査	県外からの相談にも対応できるように全国各地の支援者とのつながりを構築 (ベネッセこども基金助成)	助成	701,136	教育関係者等 約 200 名
		随時・2月調査報告		5 名
当事者家族とのつながり拡充事業	県内3地域に出張しての相談会開催と病気療養児サポートブックの制作 (田辺三菱製菓手のひらパートナープログラム助成)	助成	655,022	教育等関係者 約 100 名
		年3回・現地開催		10 名
WEBを活用した情報発信強化事業	PV 動画やデジタル広告を活用した資金調達強化と WEB アウトリーチ拡充 (大和証券こども支援団体サステナブル基金助成)	助成	3,550,151	寄付・支援者等 約 100 名
		随時・オンライン等		5 名
病気療養児へ届けたい！未来への希望プロジェクト	病気療養児に向けた広報チラシ制作および支援拡充フォーラム開催 (一柳ウェルビーイングライフ基金)	助成	1,131,348	講演会等参加者 約 300 名
		随時・2月フォーラム		10 名
		小計	7,625,089	

事業費計：15,655,028 円

慢性疾患を抱える子どもの相互交流を支援する「ポケットスペース」

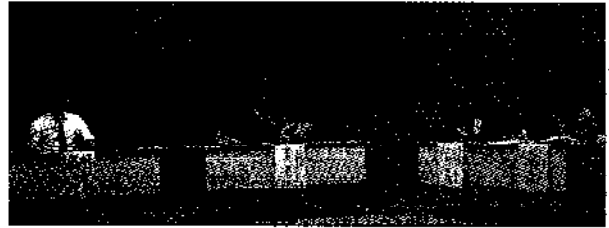
- ・2023年度から岡山県の委託事業が開始し、支援拠点のほか県内3か所の小児病棟でオンライン支援を実施することができた。
- ・年間延べ214人の子どもや保護者に対し、交流や相談、学習支援を実施した。支援には年間を通して延べ348人の支援従事者が関わった。
- ・医療機関との連携では貸し出しているiPadを通じて、日々の医療スタッフとのやり取りや、子どもたちや保護者とのつながりを作ることができた。
- ・支援内容は知育ゲームによる交流、長期療養中の学習空白を埋める学習支援の他、企業プロボノにも参加してもらい「英会話がしてみたい」といった特別なニーズにも対応することができた。
- ・ポケサポ相談ダイヤルへは年間で50件の相談が寄せられた。
- ・12月より試験運用を開始したLINE相談では当事者や保護者らと気軽につながることができ、日々の相談が活発になっており、県内のみだけでなく全国からの相談に対応することができた。
- ・医療関係者からの相談でつながった退院直後の中学生への支援では、学習内容を院内学級の教員と情報共有するなど多職種連携を行い、復学までの長期間にわたり支援することができた。



病氣療養する高校生世代への支援拡充

- ・2023年8月6日に「岡山県内における AYA 世代支援ネットワークづくりフォーラム」を岡山大学鹿田キャンパス J ホールで開催した。
- ・講師として、副島賢和 准教授（昭和大学大学院保健医療学研究科）、石田悠志先生（岡山大学病院小児科）に登壇いただいた。
- ・会場参加と YouTube 配信によるハイブリットで、地域別でも 30 を超える都道府県から申し込みがあり、参加総数 432 名（運営スタッフを含む）だった。
- ・当日の参加者からと YouTube のライブチャットに寄せられる質疑応答も活発に行われていた。9 割を超える方から「良かった」というアンケート回答があり、病氣療養する子どもの支援者を中心に全国的な関心を寄せられた内容となった。

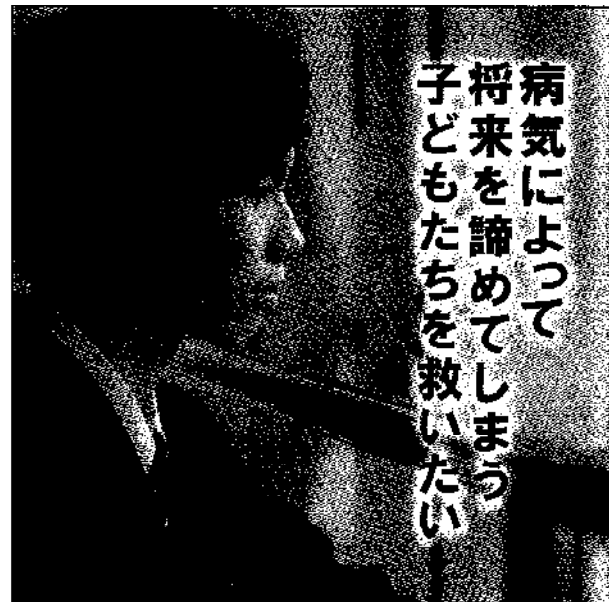
- ・当日参加できなかった関心層へ向けて、当日の様子を録画編集したアーカイブ版を公開し、動画視聴できる QR コードを掲載したパンフレットを学校や病院等に発送した。



- ・本事業は公益財団法人橋本財団による助成により実施した。

WEB を活用した情報発信強化事業

- ・団体の活動理念、代表の思い、活動内容、利用者の声、多職種連携実績などをまとめたプロモーション動画を制作した。
- ・YouTube へのアップロード、紙媒体（パンフレットや事業案内）へ動画 QR コードを掲載し広く見て頂けるようにした。
- ・各 SNS や YouTube の広告経由からランディングページや動画を視聴いただいたことで、WEB アウトリーチ等による新規相談件数や、マンスリーサポーター登録者増につながった。
- ・本事業は大和証券グループ未来応援ボンドこども支援団体サステナブル基金の助成により実施した。



病氣によつて
将来を諦めてしまふ
子どもたちを救いたい

日本で病氣があつても挑戦し続け、活躍する子どもたちをあなたも応援してください。

今、この瞬間も日本で長期療養を続ける約14万人の子どもに支援を届けるため
あなたのご寄付が必要です！

月1,000円で入院中の子ども3人に支援が届けられ
ご寄付は寄付金控除（税制優遇）の対象です。
詳しくはQRコードからご確認ください。

1日33円～
今すぐ寄付で
応援する



当事者家族とのつながり拡充事業

- ・病気療養児支援につなげるサポートブックを制作し、県内の学校や各都道府県の教育委員会、小児慢性特定疾病に関する行政など、関係各所へ郵送した。また、デジタル版電子ブックとしてパソコンやスマートフォンから閲覧できるようにダウンロード資料としてWEB公開した。
- ・サポートブックの原稿は、久保俊英院長(国立病院機構岡山医療センター)、大阪教育大学 平賀健太郎准教授(大阪教育大学)、福島慎吾氏(認定NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク・専務理事)、岡山県保健医療部医薬安全課、岡山市保健所健康づくり課、岡山県教育委員会特別支援教育課、岡山県立早島支援学校病弱部等が寄稿した。
- ・本事業は田辺三菱製薬手のひらパートナープログラムの助成により実施した。

長期の病気療養が必要な児童・生徒の
家族・支援者向けサポートブック
 ～医療・教育・地域が子どもたちの学びを支える～



子どもたちの声、支援者の役割など多職種で活かせるヒント満載!

本書子は小児がんや心臓病などの慢性病を患える子どもたちの学習・療育支援等を行う認定NPO法人がネットサポートで、田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラムの2023年度助成により制作および関係機関への配布を行いました。

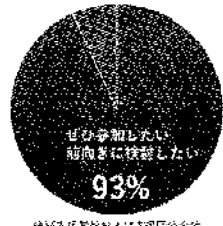
認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク

全国病気療養児支援アトハイサーニーズ調査

- ・公益財団法人ベネッセこども基金と協働で『病気療養児支援者全国ネットワーク構築に関するアンケート』を実施した。
- ・全国の病弱特別支援学校と病弱児支援団体が回答し、支援ネットワークの構築に関する前向きなニーズの高さが調査から明らかとなった。
- ・調査結果報告の内容は2024年2月1日の教育新聞にも掲載され、特に「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業」に関する病弱特別支援学校の認知度の低さがクローズアップされた。
- ・本事業は公益財団法人ベネッセこども基金との協働プロジェクトにより実施した。

「病弱児支援に横断的体制を望む」9割

全国ネットワークへの参加意向



93%
 せみ参画したい
 前向きに検討したい


特別支援学校・支援団体の双方で全国の病弱児支援団体や関係機関同士の横のつながりを広げることへの**高い関心がある**

調査回答数：47件
 ・特別支援学校：33件
 ・病弱児支援団体：14件

特別支援学校の支援制度認知は「2割未満」

「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業(小慢事業)」の内容を知っているのは、国・自治体・都道府県や関係機関とのコーディネートなどを扱う「自立支援員」の認知度は、わずか2割

特別支援学校における小慢事業の認知度



20% 10% 40% 30%

認知度低い

(3) 補助金・助成金

補助・助成機関名（順不同）	内 容	金 額
公益財団法人橋本財団	岡山県内で病気療養する高校生世代の支援拡充事業	700,000
田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム	当事者家族が病気療養児に携わる多職種とのつながりを広げる事業	700,000
大和証券グループ未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金	デジタル広告を活用したファンドレイジング強化と WEB アウトリーチ拡充	3,500,000
一柳ウェルビーイングライフ基金	病気療養児へ届ける未来への希望プロジェクト（WEBアウトリーチ・フォーラム開催）	1,200,000
MDRT Foundation-Japan	探究学習プログラム GEMS を活用した学びや発見・考える楽しさ体験イベント開催	200,000
岡山市市民活動支援金	病気療養する若者同士がつながる交流会	100,000

(4) 受託事業

委託元	内 容	金 額
岡山市	岡山市小児慢性特定疾病児童等相互交流支援業務委託	2,000,000
岡山県	岡山県小児慢性特定疾病児童等自立支援事業委託	3,106,400
公益財団法人 ベネッセこども基金	病気療養児支援者全国ネットワーク構築協働プロジェクト	643,500

(5) 外部委員会への参加など

委員会等名（順不同）	委員名
SDGs ネットワークおかやま 副会長	三好 祐也
岡山県特別支援教育専門家チーム員	三好 祐也
岡山県特別支援教育エキスパート派遣事業 専門家チーム員	三好 祐也
岡山県立早島支援学校 学校運営協議会委員	三好 祐也
岡山市市民活動アドバイザー 支援者拡大のためのマーケティング活用	奥田 修平
岡山県院内学級連絡協議会	三好 祐也

法人名： 特定非営利活動法人 ポケットサポート

活動計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	260,000	
賛助会員受取会費	574,000	834,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	5,417,995	
ボランティア受入評価益	882,400	6,300,395
3. 受取助成金等		
受取助成金	6,330,028	6,330,028
3. 事業収益		
受託事業収益	5,749,900	
事業収益	106,565	5,856,465
4. その他収益		
受取利息	82	
雑収益	18,922	19,004
経常収益計		19,339,892
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬	2,088,424	
給料手当	2,460,328	
臨時雇賃金	95,000	
ボランティア受入評価費用	822,400	
法定福利費	266,726	
人件費計	5,732,878	
(2) その他経費		
業務委託費	2,233,450	
製作費	54,362	
諸謝金	614,000	
印刷製本費	555,637	
図書費	89,924	
会議費	119,213	
旅費交通費	532,850	
通信運搬費	1,058,163	
消耗品費	950,147	
広告宣伝費	2,216,398	
水道光熱費	120,000	
会場費	130,542	
地代家賃	490,030	
賃借料	631,695	
租税公課	3,250	
支払手数料	72,489	
雑費	50,000	
その他経費計	9,922,150	
事業費計		15,655,028

2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	521,576		
給与手当	822,307		
法定福利費	438,608		
ボランティア受入評価費用	60,000		
福利厚生費	10,564		
人件費計	1,853,055		
(2) その他経費			
印刷製本費	57,370		
業務委託費	5,280		
図書費	6,050		
旅費交通費	1,100		
通信費	257,810		
消耗品費	66,001		
地代家賃	109,970		
広告宣伝費	11,000		
慶弔費	11,000		
保険料	20,244		
研修費	1,500		
諸会費	37,375		
租税公課	41,800		
支払手数料	151,746		
雑費	5,000		
その他経費計	783,246		
管理費計		2,636,301	
経常費用計			18,291,329
当期正味財産増減額			1,048,563
前期繰越正味財産額			4,309,270
次期繰越正味財産額			5,357,833

法人名： 特定非営利活動法人 ポケットサポート

貸借対照表

2024年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	82,314		
商品券	110,143		
郵便振替	292,440		
普通預金	6,395,393		
流動資産合計		6,880,290	
2. 固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			6,880,290
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,113,847		
前受金	269,972		
預り金	98,038		
未払金消費税	40,600		
流動負債合計		1,522,457	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,522,457
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,309,270	
当期正味財産増減額		1,048,563	
正味財産合計			5,357,833
負債及び正味財産合計			6,880,290

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	学習復学支援	交流活動	講演活動	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	834,000	834,000
2. 受取寄付金	226,350	1,191,225	0	1,417,575	4,882,820	6,300,395
3. 受取助成金等	200,000	100,000	6,030,028	6,330,028	0	6,330,028
4. 事業収益	0	5,106,400	750,065	5,856,465	0	5,856,465
5. その他収益	0	0	0	0	19,004	19,004
経常収益計	426,350	6,397,625	6,780,093	13,604,068	5,735,824	19,339,892
II 経常費用						
(1) 人件費						
給与 手当	219,170	1,698,098	543,060	2,460,328	822,307	3,282,635
役員 報酬	235,539	1,207,852	645,033	2,088,424	521,576	2,610,000
臨時雇賃金	15,000	59,000	21,000	95,000	0	95,000
ボランティア評価費用	0	822,400	0	822,400	60,000	882,400
法定福利費	88,207	97,975	80,544	266,726	438,608	705,334
福利厚生費	0	0	0	0	10,564	10,564
人件費計	557,916	3,885,325	1,289,637	5,732,878	1,853,055	7,585,933
(2) その他経費						
業務委託費	100,000	330,000	1,803,450	2,233,450	5,280	2,238,730
製作費	0	13,618	40,741	54,362	0	54,362
諸謝金	0	210,000	404,000	614,000	0	614,000
印刷製本費	10,227	120,032	425,378	555,637	57,370	613,007
図書費	30,000	59,924	0	89,924	6,050	95,974
会議費	9,759	81,865	27,589	119,213	0	119,213
旅費交通費	0	410,330	122,520	532,850	1,100	533,950
通信運搬費	11,832	306,274	740,057	1,058,163	257,810	1,315,973
消耗品費	149,702	695,364	105,081	950,147	66,001	1,016,148
広告宣伝費	0	153,123	2,063,275	2,216,398	11,000	2,227,398
会場費	19,800	70,632	40,110	130,542	0	130,542
水道光熱費	0	120,000	0	120,000	0	120,000
地代家賃	21,010	224,933	244,087	490,030	109,970	600,000
賃借料	21,901	314,567	295,227	631,695	0	631,695
慶弔費	0	0	0	0	11,000	11,000
保険料	0	0	0	0	20,244	20,244
諸会費	0	0	0	0	37,375	37,375
租税公課	0	3,250	0	3,250	41,800	45,050
研修費	0	0	0	0	1,500	1,500
支払手数料	1,650	46,905	23,934	72,489	151,746	224,235
雑費	50,000	0	0	50,000	5,000	55,000
その他経費計	425,881	3,160,817	6,335,452	9,922,150	783,246	10,705,396
事業費計	983,797	7,046,142	7,625,089	15,655,028	2,636,301	18,291,329
当期経常増減額	△ 557,447	△ 648,517	△ 844,996	△ 2,050,960	3,099,523	1,048,563

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】 [税込] (単位:円)

内 容	金 額	算 定 方 法
交流支援ボランティア	822,400	時給1,600円×年間のべ514時間
経理事務ボランティア	60,000	時給1,000円×5時間×12回
合 計	882,400	

【使途等が制約された寄付等の内訳】 [税込] (単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
MDRT助成金 2023	200,000	0	200,000	0	対話型体験学習イベント開催 事業期間: R5年7月
MDRT助成金 2024	0	200,000	0	200,000	対話型体験学習イベント開催 事業期間: R6年6月
大和証券グループ 未来応援ボンド こども支援団体 サステナブル基金	3,500,000	0	3,500,000	0	ファンドレイジング強化 事業期間: R5年1~12月
一柳ウェルビーイング ライフ基金	1,200,000	0	1,130,028	69,972	支援拡充フォーラム開催等 事業期間: R5年7~R6年3月
合 計	4,900,000	200,000	4,830,028	269,972	

【役員及びその近親者との取引の内容】 [税込] (単位:円)

科 目	財務諸表に 計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び 支配法人等との取引
(活動計算書) 水道光熱費	120,000	120,000	0
(活動計算書) 地代家賃	600,000	600,000	0

法人名： 特定非営利活動法人 ポケットサポート

財産目録

2024年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	82,314	
商品券	110,143	
中国銀行	3,601,154	
中国ろうきん	2,697,362	
楽天銀行	96,877	
郵便振替	292,440	
流動資産合計		6,880,290
2. 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		6,880,290
II 負債の部		
1. 流動負債		
前受金		
MDRT助成金	200,000	
一柳ウェルビーイングライフ基金	69,972	
未払金		
3月分給料	525,539	
2月分社会保険料	112,047	
消耗品代他	470,981	
業務委託費	5,280	
預り金		
源泉所得税	12,707	
住民税	12,600	
雇用保険料	17,507	
社会保険料	55,224	
未払金消費税	40,600	
流動負債合計		1,522,457
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		1,522,457
正味財産		5,357,833

前事業年度の年間役員名簿

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

認定特定非営利活動法人ポケットサポート

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
1	代表理事	三好 祐也		R5年4月1日 ~R6年3月31日	R5年4月1日~ R6年3月31日
2	理事	松本 圭子		R5年4月1日 ~R6年3月31日	報酬無し
3	理事	山口 そのえ		R5年4月1日 ~R6年3月31日	報酬無し
4	監事	池田 千明		R5年4月1日 ~R6年3月31日	報酬無し

【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。